

◇◆ほっかいどう防災教育協働ネットワーク◆◇

～メールマガジン第 105 号(令和 5 年 11 月 24 日発行)～

\*\*\*\*\*

◇◇◇◇◇◇◇◇◆ INDEX ◆◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

トピックス

- 津波からの避難意識の向上のための動画を公開しました！
- 【11/28 開催】「土砂災害を考える防災講演会 in 函館」～土砂災害から自分の身を守るために～
- 【12/7 開催】防災・減災シンポジウム「～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備え」
- 【12/16 開催】巨大地震対策オンライン講演会～強い揺れ・ゆっくりとした大きな揺れ・津波に備える～
- メールマガジン第 103 号（9 月号）で実施したアンケートの結果について
- 各種メディア・SNS を用いた情報発信について
  
- 津波からの避難意識の向上のための動画を公開しました！

道では、津波からの避難意識の向上のための啓発教材用動画「津波からいのちを守るために ～早期避難と呼び掛けの重要性～」を作成し、YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」でインターネット配信を開始しました。

※動画は、6 地域毎に作成し、各編とも約 15 分半です。

渡島 [https://youtu.be/\\_jgN\\_QB0pGU](https://youtu.be/_jgN_QB0pGU)

胆振 <https://youtu.be/1Q4e6gUaWtM>

日高 [https://youtu.be/UJep\\_y0sjYg](https://youtu.be/UJep_y0sjYg)

十勝 <https://youtu.be/bIe7KgMwrHg>

釧路 <https://youtu.be/SEQnkJNU0dc>

根室 <https://youtu.be/LjdP19CNE6k>

動画は、昨年 7 月に道が公表した「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定」を地域住民の皆様  
に「自分ごと」として身近に感じるとともに、冷静に受け止め「正しく恐れる」ことができるよう、津波  
避難対策特別強化地域に指定された 39 市町毎に津波による海面変動をシミュレーションした CG や、  
Googleearth に津波浸水ハザードマップを重ね、さらに各市町の庁舎やシンボリックな建物などの浸水イメ  
ージ画像を取り込むなど、工夫しながら紹介しています。

また、津波から難を逃れたとしても、本道の積雪寒冷地特有の課題として低体温症のリスクがあるこ  
とから、有識者からの助言を踏まえたこれらへの備えや対処方法についても紹介しています。

皆様には、ぜひ動画をご視聴いただき、次の5つのポイントを覚えて、確実に行動できるよう日頃から事前の備えと心構えをお持ちいただきますようお願いいたします。

<津波から命を守るための5つのポイント>

- ①率先して避難する（指示を待たない、声をかける）
- ②いち早く海や川から離れ高台や避難ビルなどの安全な場所に避難する
- ③避難するときは、自動販売機やブロック塀、電柱などの倒れやすい物から離れる
- ④津波警報が解除されるまで避難場所から離れない
- ⑤冬期の積雪や凍結、吹雪などを想定し、日頃から防寒対策や避難方法を確認する

プラスワン～低体温症を防ぐために～

- ・濡れた衣服はすぐに着替える
- ・冷たい壁や床を避けるため段ボールベッドや寝袋を活用する
- ・体温を下げないように、保温、加温に留意し、食事（できれば温かいもの）を摂る
- ・屋外で孤立した場合は、雨風を避ける場所に身を寄せ、できるだけ屋内に避難することを考える

また、YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル

(<https://www.youtube.com/@user-hm1ez7im7v>) からアクセスすることもできます。

(できれば、この機会にチャンネル登録もお願いします!)

## ■ 【11/28 開催】「土砂災害を考える防災講演会 in 函館」～土砂災害から自分の身を守るために～

来る11月28日(火)、土砂災害や防災に関する知識の普及を目的として、北海道、(公社)砂防学会北海道支部の主催により「土砂災害を考える防災講演会 in 函館」～土砂災害から自分の身を守るために～と題し函館市中央図書館視聴覚ホールで講演会が開催されます。

道内においては、平成26年に礼文町で発生したがけ崩れ、平成28年には、北海道に4つの台風が上陸・接近したことによる大雨で土石流が発生したほか、平成30年9月には胆振東部地震による大規模な土砂災害、昨年6月には北見市で土石流災害など、道内ではたびたび土砂災害が発生しており、私たちの暮らしに大きな被害を与えています。

高い頻度で土砂災害による被害が生じている中で、土砂災害の発生するおそれのある土地の区域を明らかにする土砂災害警戒区域等の指定へのご理解や、地域防災力を高め、「土砂災害から自分の身を守る」ことについて考える契機としていただくためにも積極的な視聴をご検討いただくとともに、悲惨な土砂災害から大切なご家族ご友人を守るために、是非、函館やその近郊にお住まいのご家族、ご友人にお声がけください。

詳細は、次のURLからご覧ください。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kss/165016.html>

## ■ 【12/7 開催】防災・減災シンポジウム「～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～「日本海

## 溝・千島海溝沿いの巨大地震への備え」

来る12月7日(木)、国土交通省北海道開発局の主催により防災・減災シンポジウム「～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震への備え」」が開催されます。

海溝沿いの巨大地震の発生が切迫していると指摘される中、『日本海溝・千島海溝巨大地震へいかに備えるか』や『自助・共助・公助の調和が取れた「災害に強くしなやかな社会づくり」への取組』を考える機会としていただくため、シンポジウムは帯広会場をはじめ、広尾会場、豊頃会場（広尾及び豊頃会場は帯広会場の様子をリアルタイム配信）やZoom ウェビナーによるオンラインでの視聴も可能です。

なお、参加には事前申し込みが必要であり、各会場とも定員が決まっていますので、参加を希望される方はお早めにお申し込みください。（参加申し込みは、本日まで）

詳細は、次の URL からご覧ください。

<https://sites.google.com/view/20231207-hkd-symposium/>

## ■【12/16開催】巨大地震対策オンライン講演会～強い揺れ・ゆっくりとした大きな揺れ・津波に備える～

来る12月16日(土)、巨大地震対策オンライン講演会が気象庁、(一財)気象業務支援センター、緊急地震速報利用者協議会の主催し、ライブ配信(Zoom)により開催されます。

12年前の3月に起きたMw9.0の東日本第震災は衝撃的な出来事でしたが、注目すべきは、その2日前にMw7.3の地震が東北地方を襲った後だったということ、大地震が起きたその後に更に大規模な地震が発生した事例です。

こうした「後発地震」は必ず発生するものではありませんが、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とその周辺で、Mw7クラス以上の地震が発生し巨大地震発生の可能性が高まった場合に、後発地震への注意を促す「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が令和4年12月より発信されるようになりました。

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の運用が開始されてちょうど1年を迎えるこの機会に、改めて地震や津波について正しく理解していただき、いざという時に気象庁から発信される様々な情報を有効に活用できるよう開催されるもので、第一線の専門家である気象庁職員、大学教授、宮城県職員が講師として解説が行われます。

オンライン (Zoom) により視聴が可能で、講演会終了後は、アーカイブ配信 (YouTube) もなされますので、ご興味のある方はぜひご視聴ください。

詳細は、次の URL からご覧ください。

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin\\_bosai/r5\\_lecture.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/jishin_bosai/r5_lecture.html)

## ■ メールマガジン第103号（9月号）で実施したアンケートの結果について

北海道庁のメールマガジン配信システムが令和6年3月末をもって廃止されることに伴い、本メール

マガジンにおいても4月以降当該システムを用いた配信が叶わなくなりました。

今後の情報発信のあり方を検討するに当たり、本メールマガジン第103号(9月号)におきまして、情報発信のあり方に関するアンケート調査を実施したところ25名の読者の皆様からご回答頂きましたので、次のとおり結果をお知らせします。

-----以下、アンケート結果-----

**Q1** あなたがお住まいの地域またはお勤め先の地域のいずれかについて、次の中から1つ選択してください。

○空知1名、○石狩14名、○後志0名、○胆振1名、○日高0名、○渡島1名、○檜山0名、○上川2名、○留萌0名、○宗谷0名、○オホーツク1名、○十勝2名、○釧路2名、○根室1名、○道外0名、○海外0名

**Q2** あなたの職業または所属する団体等について、次の中から1つ選択してください。

○経営者・役員5名、○会社員(正社員、契約職員、派遣職員)2名、○公務員(教職員除く)7名、○教職員8名、○自営業・自由業1名、○定年退職1名、○その他1名

**Q3** あなたが登録しているメールアドレスについて、次の中から1つ選択してください

○個人のメールアドレス9名、○お勤めの企業(団体)のメールアドレス16名

**Q4** 道が防災教育の取組として活用している情報発信ツールのうち、あなたが知っているものを全て選択してください。(複数回答可)

○メールマガジン「ほっかいどうの防災教育協働ネットワークマガジン」25名、○ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」19名、○YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」7名、○フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」11名、○X(旧Twitter)「北海道防災情報」6名

**Q5** 上記Q4のうち、あなたが情報を受け取るために登録しているツールがあれば全て選択してください。(複数回答可)

○メールマガジン「ほっかいどうの防災教育協働ネットワークマガジン」24名、○ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」5名、○YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」1名、○フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」3名、○X(旧Twitter)「北海道防災情報」3名

**Q6** メールマガジン「ほっかいどうの防災教育協働ネットワークマガジン」で発信した情報は、ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」にバックナンバーを掲載していますが、ご存じでしたか。

○知っていたし閲覧している6名、○知っていたが閲覧していない6名、○知らなかった13名

**Q7** 道では、メールマガジンでの配信は終了しますが、引き続き、月1回(毎月25日頃)の頻度でポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」で情報発信することを検討しています。その場合、あなたの気持ちで一番近いものを次の中から選択してください。

○必ず閲覧する2名、○できるだけ閲覧する17名、○おそらく閲覧しない3名、○わからない3名

**Q8** あなたが情報を受け取る際に今後活用したい(してみたい)ツールについて、次の中から選択してください。(複数回答可)

○ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」20名、○YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」8名、○フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」5名、○X(旧Twitter)「北海道防災情報」6名、○防災アプリ(現時点で導入しておらず、今後導入するか否かも未定)5名、○その他1名

Q9 道から発信する情報のうち、あなたが知りたい、必要とする情報について、次の中から選択してください。(複数回答可)

○開催予定の防災イベントの案内16名、○防災訓練、講演会を実施している様子11名、○国の各防災コンテストの応募等1名、○放送予定の防災番組等の案内6名、○各季節に応じた自然災害への注意喚起(例:冬の大雪に注意等)13名、○最新の気象情報11名、○避難所運営の検証動画9名、○津波等、自然災害に関する動画9名

今後は、上記のアンケート結果を踏まえた上で、当課で運営する、ほっかいどうの防災教育ポータル(<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/>)のほか、FacebookやX(旧Twitter)等のツール活用した、より効果的で有益な情報発信のあり方について検討を行い、検討結果については、読者の皆様に共有させていただく予定です。

■ 各種メディア・SNSを用いた情報発信について

危機対策課では、各種メディア・SNSにて、防災に関する情報を発信していますので、ご覧ください。ぜひフォローやチャンネル登録、いいね!をお願いします!

危機対策課のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/saigai-bousai.html>

● ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>

● YouTube「北海道総務部危機対策局危機対策課チャンネル」

<http://www.youtube.com/channel/UCH8en7nPSfnsNJ1Fy0K01qg>

● フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

● Twitter「北海道防災情報」

[http://mobile.twitter.com/hokkaido\\_bosai2](http://mobile.twitter.com/hokkaido_bosai2)

=====

発行: ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

・最新情報発信中! フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<https://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>

=====